

経和会会報

発行 埼玉大学経済学部同窓会 経和会会長 田坂 敏幸 / 編集 広報委員長 平本 一郎
さいたま市桜区下大久保255番地 TEL 048-858-9218 (印刷：望月印刷株)

経和会ホームページをご利用ください

URL <http://www.keiwakai.net>

メール webmanager@keiwakai.net

埼玉大学創立六〇周年



埼玉大学創立六〇周年
おめでとうござい
ます。

埼玉大学は旧制浦
和高等学校や埼玉師範学校を母体に昭和二十四
年四月一日に誕生しました。以来六〇年が経ち、
ことし創立六〇周年と人間にたとえれば還暦を
迎えました。

今年九月に六〇周年式典が、十一月にはむ
つめ祭に合わせ、ホームカミングデイが予定さ
れています。また、埼玉大学は今、首都圏の国
立大学として、キャンパスが一つ(総合大学で
は本学と筑波大のみ)で都心からも極めて近く、
周辺環境がよく、全国から学生が集まり、学
んでいます。海外からの留学生も五百名になら
んとしています。サークル活動も盛んで、全国
大会で活躍しています。就職支援も活発で、学
生は優良企業や公務員に就職が決まっています。
埼玉大学はこのように魅力ある大学に変貌を遂
げつつあります。

卒業生の皆さん！今年はこれらの行事に参加
し、皆さんが築き上げた母校六〇周年を盛大に
お祝いしようではありませんか。

奉仕の精神で経和会活動にご協力を！

経済学部は当時の文理学部経済専攻・法律専
攻の時代を経て、昭和四〇年より経済学部と改
め、今日に至っております。その間卒業生数は
九千名を超す数となりました。

これからは、私たち経和会もさらに卒業生の
ため、学生のため、大学のために発展し、進化
を遂げる必要があります。

そのためには皆さんの力で同窓会活動をもっ
と活性化する必要があります。是非、皆さんの
熱き思いと奉仕の精神で経和会を活性化し、後

会長 田坂 敏幸 (S四七年卒)

輩のために美田を残そうではありませんか。

最後に経和会活動を簡単に述べ、皆様の物心
両面のご支援を期待するところです。

- ①今年二月に初の「経和会交流会」を都内で開
催し、約九〇名の卒業生が参加し、懐かしい
ひとときを過ごしました。都内で平日の夕刻
に開き、都内に勤める卒業生の集まりの場と
しました。これからも毎年開催し、同期会や
ゼミOB会の場として、また、異業種交流の
場として発展させていきたいと願っています。
②経和会報の紙面を刷新しました。今後は紙面
を増やし、皆さんから寄せられた記事をより
多く掲載していきたいと思っています。是非、
記事の寄稿をお願いいたします。特に同期会
開催の記事は大歓迎です。
- ③昨年立ち上げた経和会関西支部では支部長の
S四七年卒の飯塚丈夫さんを中心に関西方面
でご活躍している卒業生をまとめ、仲間を増
やしていきたいと願っています。皆さんの友
人で関西にお住まいまたは勤務されている方
がおられましたら是非、支部活動にご参加い
ただくようご案内ください。
- ④経和会名簿の第四号を七年振りに発行する予
定です。ただ単に発行するのではなく、会員
情報のデータベース化を図り、個人情報保護
法にもきちんと対処できる体制を構築しよう
と、S三九年卒の鎌倉一郎さんや事務局が一
生懸命取り組んでいます。
- ⑤最後に今年度も同窓会連合会が卒業生の親睦
として始めた「むつめゴルフ会」を埼玉の森
林公園ゴルフ倶楽部で十一月に開催いたしま
す。埼玉大学創立六〇周年を記念しての大会
といたしたく同期会、ゼミ、サークル仲間を
お誘いして是非ご参加ください。
ありがとうございます。

平成21年度

経和会総会の ご案内

一 日時 平成21年7月11日(土)

総会 14時(受付開始13時30分)

懇親会 15時~17時

二 場所 埼玉大学大久保キャンパス

さいたま市桜区下大久保255

5048(858)9218

●総会「経済学部5階

A504講義室」

●懇親会「大学会館3階 大会議室」

三 懇親会

今回は現役学生(特に3年生と院1年生)

とOBとの交流会を実施し、就職問題を

はじめ先輩・後輩として人生を語りあう

場を設けますので奮ってご参加ください。

四 懇親会会費 5,000円

(3年生・院1年生は無料)

五 交通

●JR京浜東北線「北浦和駅」より埼玉

大学行きバス15分

●JR埼京線「南与野駅」より埼玉大学

行きバス10分

●JR埼京線「南与野駅」よりタクシー

では1,000円程度

六 出欠 6月22日(月)までに同封のほう

きにてお申込みください。

昨年20年度の経和会総会



経済学部長 伊藤修先生の講義



懇親会

平成20年度 卒業生の就職状況

昨年末の金融危機から今年の4年生の就職活動は厳しい状況にあります。20年度の学生は幸いにして、それまで内定が決まった人が多く、大変よい内定状況です。

経済学部の特徴は今回も公務員（41名）と金融保険（51名）が中心でした。Uターン学生が多いこともその理由かもしれません。

因みに経済学部では埼玉県外からの学生が84%を占めているそうです。

このような中でさいたま市には10名もの大量の内定者が出たり、経済学部初の日本銀行に女性が決まったりしています。

また、公認会計士が現役の学生で6名も誕生しました。学生の努力の賜ですが経済学部の先生方の熱き取り組みにも敬意を表したいと思います。

埼玉大学 経済学部 20年度 主な内定先リスト

公務員関係

さいたま市	10
東京都庁	6
埼玉県庁	2
栃木県庁	2
山梨県庁	2
財務省	1
国税庁	1
関東信越国税局	2
厚生労働省	1

銀行・保険

東京都特別区	1
日本生命	4
三井住友海上	4
みずほグループ	3
りそなグループ	2
栃木銀行	2
静岡銀行	2
中央労働金庫	2

損保ジャパン	2
日本興亜損保	2
日本政策金融公庫	2
かんぽ生命保険	2

一般企業

東北電力	3
ソフトバンク	2
日立製作所	2
NTT データ	2

1名内定の主な企業

日本銀行、三井住友銀行、キャノン、大日本印刷、横浜ゴム、アサツーディ・ケイ、住友生命、明治安田生命、七十七銀行、八十二銀行、青森銀行、十八銀行、常陽銀行、岩手銀行、北陸銀行、福島銀行、ゆうちょ銀行、大和証券、京セラ、日立化成、キャノン電子、芙蓉総合リース、NTTドコモ、東日本旅客鉄道

就職活動体験記



りそな銀行 内定
埼玉大学 教養学部
経営学科 四年
吉田 達文

私が、就職活動を始めたのは、三年生の八月に、まず、内定先へのインターンシップに行く事から始まりました。この事は、気持ちを就職活動に向かわせる事と、第一志望であった金融機関の仕事に肌身で感じる事には有意義でした。実際に、企業訪問した会社数は一二〇社位でした。埼玉大学の学内でのセミナーにも多く出席しました。主に、OBやOGをセミナーに招いており、通常の合同説明会などにもなかなか呼ばれない企業も呼ばれておりましたので、非常に有益な情報を得られました。結果的に運良く採用されたのは、おそらく、内定先の志望動機、自己PRがしっかりと練りあがっていたこと、あとは面接官との相性が良かったことです。就職活動を行う方は、大学生活で、いろんな事を経験して下さい。他の学生では出来ない事などをしてきたということがあれば、それに力を入れ、社会に出るための基盤づくりをして下さい。私が後輩の皆さんに、出来ることがあるなら何でもさせて頂きます。就職活動、応援しております。経和会の編集委員を二年間行い、たかさんのOBにお会いしご協力頂きました。この場を借りて、お礼を申し上げます。この場を借りて、お礼を申し上げます。この場を借りて、お礼を申し上げます。(経済学部より二年次転出)



キャノン 内定
埼玉大学 経済学部
経営学科 四年
勝山 直輝

私の就職活動は決して楽なものではありませんでした。三〇社以上の企業にエントリーシートを提出し、最終的に内定を獲得したのは三社でした。選考に落ちるたびに落ち込み自分を否定しました。しかし、その内定三社中一社は第一志望の企業でした。要因は向上心を棄てることなく、将来海外を相手に働きたいという強い思いを持ち続けたためだと思っております。不安になり悩んでいる時間を自己分析、企業研究の時間に回すことでそういった弱い自分を乗り越えていきました。また、積極的に大学の就職支援室を利用することで、就職活動の基軸を逸することなく活動することができました。特に田坂様のご協力は非常に大きいものがありました。この場を借りて感謝の意を申し上げます。就職活動の際、社会で活躍し、世の中へ貢献する事にやりがいを感じて働く数多くの社会の先輩方と出会うことが出来ました。そして、将来あのようになりたいと肩を並べて働きたいという強い思いを持ちました。これから社会に出て自分の中にある可能性を見出し、将来この世の中に大きく貢献していけるような人間になりたいと考えております。

平成二十一年度の就職支援体制が変わりました

三月まで五人の経済学部卒業生が就職カウンセラーとして全学の学生の相談やセミナー開催を行っていましたが、大学と協議の上、同窓会連合会に就職支援委員会が設置され、全学の卒業生から就職カウンセラーを選出することになりました。その結果、長年就職カウンセラーを勤められた内藤勝久氏と今野耕作氏および田島克己氏が退任され、教養学部、教育学部から各一名のカウンセラーが誕生し、経済学部からは、従来の田坂敏幸、須藤富平の両氏

と新たに松崎健氏が加わり総数五名の陣容となりました。

退任された三名の方々には本当にお疲れ様でした。また、就職戦線が厳しくなった中で新しい就職カウンセラーの皆さんの活躍が期待されると思います。また、今年七月十一日(土)の総会後の懇親会(場所は学生会館)で経済学部の三年次生と卒業生との懇談会を予定しています。

学生のみなさん、奮ってご参加ください。

インターンシップ 体験記

経済学部三年 船越 裕美

私は浦和レッドダイヤモンズに九月十一日から二十五日までの十五日間、インターン生としてお世話になってきました。埼玉大学からは私を含め二人、他、跡見女子大学、帝京大学、東海大学、そして滋賀のびわこ成蹊スポーツ大学から、総勢九人の学生が参加しました。スポーツやサッカー業界を志す学生、サッカーと街づくりを勉強している学生など、意識の高い大学生たちが集い、切磋琢磨、この一言に尽きるものだったと思います。サッ



カー業界に憧れを抱き埼玉に進学してきた私にとっては、夢のような期間でした。しかし実際に仕事に触れてみると、クラブチームだからといって全てがサッカーというわけではありませんでした。「好きだから」ではなく「人や地域のために何かしたい」その手段や社会貢献の媒体としてのレッズが存在していました。実習中イベント運営に携わる機会もあり、「おもてなしの精神」ホスピタリティの追

及の深さを感じました。「サッカーが好きだからサッカーの仕事がしたい」という私の偏った考えでしたが、漠然と働く目的や意義について考えることができたと思います。仕事を通して自らのメッセージを発信、そんな社会人になれるよう頑張りたいと思います。

OBの声 森田康隆さん インタビュー



森田康隆さん
平成18年度卒業
武蔵野銀行
指扇支店勤務

Q 現在のお仕事について教えてください。

A 武蔵野銀行指扇支店に勤務しております。融資を担当しています。昨年度から二年目ということもあり、住宅ローンや企業融資など大きな数字を扱うような業務を行い、支店の実績に貢献できると感じています。

Q 埼玉大学に入学したきっかけは？

A 地元の国立大学ということが最初のきっかけです。実は教育学部から経済学部へ転向したのですが、経済学部は学科の枠があまりなく、やりたいことを自由に勉強でき、幅広く実践的なことを学べるところが転向した理由です。

Q どのような大学生活でしたか？

A サークルや趣味でもあるバスケットボールに情熱を注いでいました。サークルでは自分の代で初めて合宿を計画し、成功したことがいい経験になっています。また、よく友達と車で日本全国色々と旅行もしました。

Q 学生時代にやっておけばよかったことは？

A 資格をとっておけばよかったと思います。銀行という仕事柄、税金や法律なども扱うことが多く、これらに関連する資格試験や勉強をしておけばよかったと感じました。

実際に入学してから資格をとりましたし。あとは、もっと遊んでおけばよかったですね、大学生のうちしかできませんから。そして、いろんな人ともっと交流すればよかったと思います。

Q 就職活動はいかがでしたか？

A 最初はあこがれやイメージ先行でメーカー志望でした。しかし、就職活動を行っていくうち、メーカーでのモノ作りは理系で文系はパイプ役にすぎないと思います。金融業界に自然と転向していききました。就職先を今の銀行にしたのは地元の経済に貢献できると思ったからです。ただ、今思えば企業を絞らず色々な業種を受ければよかったかなとも感じています。

Q 最後にメッセージをお願いします。

A 今般の金融不安で各企業とも厳しい状況がありますが、それを打破できるような個性と意志をもった個人となるように人間性を高めてください。四年間は長いようであつという間ですが、自分を見つめなおす時間は十分にあります。学生時代にぜひ色々なことにチャレンジし、広く活躍できる力を身につけてください。皆さんのご健闘をお祈りしています。

女子柔道部の齊藤美貴さんと國原頼子さんが優勝！

保健体育講座教授
野瀬 清喜

10月11、12日に日本武道館で開催された全日本学生柔道体重別選手権大会において、教育学部1年生の齊藤美貴が初出場、初優勝を果たしました。柔道部の活動を遡ると溝口紀子（パルセロナ五輪銀：現静岡文化芸術大学講師）、鈴木若葉（世界選手権3位：現淑徳大学女子柔道部監督）をはじめ、20回目の優勝となりましたが、1年生でのタイトル獲得は初めてです。



初出場で初優勝の齊藤さん

齊藤は9月13日に開催された全日本ジュニア選手権でも3位に入賞しています。スポーツ選手は環境が変わると競技成績が落ち込むことが多いのですが、大変良く頑張ったと思います。

また、教育学研究科に社会人として入学した國原頼子は、10

月5日に東京武道館で開催された世界団体選手権大会に出場し準決勝、決勝と連続一本勝ちで、日本チームの優勝に大きく貢献しました。國原は11月15日開催された講道館杯全日本体重別でも初優勝を果たしました。

教育学部の学生時代から世界ジュニア選手権優勝、東アジア大会優勝、全日本体重別2位などの実績を残してきた池田ひとみも社会人として教育学研究科1年生に在籍しています。12月

6日の韓国国際で北京五輪3位の選手と接戦を演じ3位に終わりましたが、國原とともに競い合いながらロンドン五輪を目指して欲しいと願っています。



日本代表の國原さん（右から2番目）

埼玉大学ダンス部がNHK賞を受賞！

教育学部保健体育講座の細川江利子教授がご指導されている埼玉大学ダンス部が、8月2～4日に神戸文化ホールで開催された第21回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）に出場し、創作コンクール部門大学の部において、「NHK賞」を受賞しました。この賞は「2位」に相当する賞で、一昨年に続き2度目となる快挙を達成されました。

今回の作品のタイトルは「遺書—夏目漱石『こころ』より—」。出場したのは経済学部1名を含む12名。連日遅くまで続けた練習の成果が実りました。

8月20日、山口教育学部長、細川教授、出場した学生のうち3名がNHK賞トロフィーを手に上井学長を訪問され、受賞のご報告をされました。



上井学長に受賞報告：前列左から細川教授、上井学長、山口教育学部長。後列は大会に参加した学生



第59回むつめ祭を開催

埼玉大学文化祭「むつめ祭」が2008年11月1日（土）から11月3日（月）間での3日間に開催されました。

「むつめ祭」は本年度で59回目を迎え、本年度のテーマは「～彩魂～（さいたま）」で、このテーマは地域密着型、普段お世話になっている「埼玉」近隣住民にも楽しんでいただける、埼玉大学らしい学園祭を目指す、というコンセプトの基に考えられたものです。

年齢を問わず子供から高齢の方まで多くの方に来場していただきました。ゼミやサークルなど様々な団体が参加し、ミスコンやカマコンなどの催しも開かれ、大学内外の多くの方が楽しめる企画が行われました。

来年度（平成21年度）の第60回むつめ祭は平成21年11月1日（土）から11月3日（火）の3日間で開催される予定で



す。来年度のテーマは未定ですが、詳しいことはむつめ祭実行委員会ホームページ（<http://mutsume.com/>）をご覧ください。

現在も、大学の協力を得ながら、学生が主体的に企画運営しています。時代とともに催し物も様変わりしており、お子様やお孫さんたち語家族そろってお楽しみいただけることと思いますので、ぜひなつかしのキャンパスに足をお運びいただき、後輩たちを激励いただければ幸いです。

ゼミナール 紹介 コーナー

後藤和子 ゼミナール

経済学科

私たち後藤和子ゼミでは主に後藤先生の専門である「財政学」「文化財政学」について勉強しています。「文化財政学」とは、芸術や伝統文化が経済に対してどのような影響を与えるのかについて考える学問です。活動は各自でテキストを読み、レジュメを作成し、発表、討論する形をとっています。テキストはゼミ生で相談し、みんなが勉強したいと思うものを使用します。テキストとは別に新聞で気になった記事についてもまとめ、討論することで最近の出来事について深く知ることができます。卒業論文も興味のあることについてまとめ、優秀論文賞も受賞しています。自分たちのやりたいことをする、これが後藤ゼミの特徴です。

また、年1回ゼミのOB、OGさんを招いてゼミの同窓会を行います。そこでは実際に社会に出て働いている先輩から公務員、一般企業の仕事内容や、就職活動のアドバイスなど貴重なお話を聞くことができます。他にも国立国会図書館を見学するなど学外での活動も数多く行われています。



先生のキュートな笑顔のもと、毎回みんなで楽しく勉強しています。 浅見 光 (3年)

円谷昭一 ゼミナール

経営学科

円谷ゼミは今年で3年目のまだまだ新しいゼミです。私たち円谷ゼミでは主に会計学をベースに、企業に関する様々な情報(企業財務・戦略など)を用いて、定性的・定量的に現代の企業の動向を分析しています。

具体的には、企業の分析とプレゼンテーションが中心



です。いずれも2~3グループに分かれてやりますので、各自のゼミへのコミットは大きく、またグループワークなのでゼミ生同士の絆も深

いものになっていきます。2年生は毎週のプレゼンテーション、3年生は日経ストックリーグの参加、4年生は卒論、といった学年毎に活動が行われていきます。

プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、自らの考える力などを養えることができるのが円谷ゼミの利点の一つです。

工場見学や学外での発表をする機会があるなど円谷ゼミでしかできないことも多数あります。

スポーツ等の勉強以外でのイベントも盛んに行われているので、ゼミ生は学年関係なく仲良しですし、先生との交流も多く、とても刺激的で楽しい円谷ゼミです。

長澤 重幸 (3年)

江口幸治 ゼミナール

社会環境設計学科

民法の研究を行っている私たち江口ゼミは、最新の最高裁判所の判例をもとに、徹底したディベートを行っています。ディベートを行うためには、通常の授業でしっかりと基礎的な知識を習得しておくことはもちろんのこと、多くの文献や資料をもとに十分な準備をしておくことが必要です。さらに、相手方の主張を予想し理解した上で、反論をしなければならぬディベートでは応用力も要求されるし、専門性が増すことから、毎回非常に緊張します。しかし、だからこそ自分ができる範囲で必死にディベートを行い、自分の主張がみんなに理解された時には言葉に出来ない感動と充実感を得られます。すなわち、「目標を定めたら最後まであきらめずやり通す力」と「それによって得られる達成感の素晴らしさ」を実感するのです。江口先生は、どうやらこの『達成感』をみんなに得てもらいたいと考えているようです。

また、江口ゼミのもう一つの特徴は卒業生との繋がりが

です。すでに100名を越える卒業生の方々は、民間企業や官公庁で活躍している方や公認会計士や社会保険労務士の資格を取得して頑張っている方、さらには東大や神戸大などで研究者の道を進んでいる方などいます。それら卒業生の方々は、組織化することは決してありませんが、非常に強いネットワークで自然に結ばれています。私たちは、その「自然な」ネットワークのおかげで、勉強はもちろん将来のことなど、常に熱心にアドバイスしていただいています。



公務員のOBによる講演(ゼミ合宿で)

江口ゼミは、縦や横の充実したヒューマンネットワークの上で充実した大学生活を送ることのできる場であると思います。 成田恵津子 (3年)

同期会だより

▼昭和三八年卒業（きさらぎ会）

毎年二月（きさらぎ）に開催しています。今年も新宿三井クラブで二月二〇日に開催しました。当時の恩師お二人を含め十八名の卒業生の計二〇名で賑やかに開催しました。

▼昭和四十七年卒業（四七経和会）

昨年十月十一日にお茶の水のレストランで半数近くの同期の還暦祝いを兼ねて開きました。女性二名を含む三〇名ほどの同期が集まりました。遠くは沖縄や長崎からも集まり盛り上がりましたので今年も開催することとなりました。



支部だより

経和会「関西支部」を立ち上げました。

関西地区にてご活躍されている埼玉大学経済学部同窓会「経和会」会員の皆様の親睦を深め情報交流の場を提供すべく、下記の通り経和会「関西支部」を立ち上げましたのでご連絡致します。

会員名簿を整理致したく、左記事務局までご連絡頂ければ幸いです。また、二〇〇九年度は、設立総会を企画致しますので、皆様ご参加下さいますようお願い申し上げます。

また、経済学部以外の卒業生でご存じの方がお出ででしたらご紹介願います。諸行事に参加のお声掛けをしたいと思います。

1. 支部長…飯塚文夫（昭和四十七年卒）
2. 事務局…中莖雅彦（昭和五十六年卒）（副支部長）

TEL：〇九〇―九九四四一〇六
E-mail：m-nakakuki@ms-ins.com

3. 関西支部設立第一回総会・交流会のご案内
日時：平成二十二年十月九日（金）
総会…十七時三〇分
交流会…十八時三〇分から

場所…未定（大阪市内の交通至便な場所）
詳細…決まり次第、経和会ホームページに掲載予定
他学部卒業生も大歓迎

経和会ニュース

株式会社アイネット 平成二〇年ちいき経済賞 総務大臣賞を受賞

昭和三八年卒の池田典義さんが会長をしております、(株)アイネットが神奈

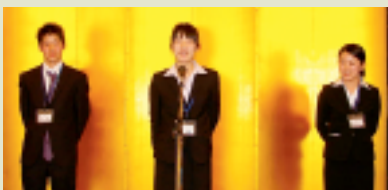
川のちいき経済賞総務大臣賞を受賞されました。

★社団法人地域経済総合研究所

▶http://www.chiki.jp/

★三月六日付日本経済新聞／神奈川・首都圏経済版に記事が掲載されました。

第1回 経和会 交流会



昭和43年卒 永井 孝一	高杉 博明 鈴木 一成	藤原 晃 昭55年卒	平成8年卒 小口 雄司
昭和44年卒 権田 憲吉 星野 幸彦	熊谷 涉 高野 康雄	竹田 光明 昭58年卒	西田 敬 昭9年卒
昭和45年卒 山田 清文 大井 健	桜井 博 高野 政伸	大橋 秀夫 昭59年卒	後藤 昭 昭11年卒
鈴木 洋文 佐渡晋一郎	須藤 富平 菊池 勝	荒川 泰行 昭59年卒	渡辺 美久 昭14年卒
柴田 陽子 荻野 弘二	三角日出夫 清原 誠	野村 正弘 昭60年卒	坂田 泰一 昭11年卒
大津 徳明 杉野 弘三	昭50年卒 高野 政之	武田 純一 昭60年卒	川口 章昇 昭14年卒
杉野 弘三 宮下 泰三	昭51年卒 服部 直樹	柳沢ひとみ 昭61年卒	福島 正顕 昭19年卒
昭和47年卒 松崎 健	木戸 勝彦 昭52年卒	工藤 道弘 昭61年卒	星 和男 昭20年卒
田坂 敏幸 山本 高博	小越 信良 昭52年卒	千葉 健 昭61年卒	青木 克人 昭20年卒
須田 和紀 大木雄生男	矢澤 繁実 昭53年卒	古屋 久昭 昭62年卒	比 鋒 昭21年卒
吉田 円 荒井佐代子	庄 達夫 大保 泰夫	星 二郎 昭62年卒	嶋田 衛二 現役
鈴木 均	平本 一郎	平成3年卒 藤田 裕美 中村 和美 依田 美紀	小川 周三 久保田 裕子 橋 晴香

●第2回経和会交流会のご案内

1. 日時：平成22年2月17日(水)18時30分～
2. 場所：アルカディア市ヶ谷を予定
3. 詳細：決まり次第、経和会ホームページに掲載予定
現役の学生・院生、他学部卒業生も大歓迎

その他の行事予定紹介

●同窓会連合会主催、60周年記念ゴルフ会

1. 日時：平成21年11月15日(日)
2. 場所：森林公園ゴルフ倶楽部
3. 詳細：決まり次第、経和会ホームページに掲載予定

第1回「経和会交流会」参加者

伊藤学部長 柳沢副学部長 昭32年卒	田村公一郎 昭38年卒	内藤 勝久 昭39年卒	鎌倉 一郎 昭42年卒
大澤 辰英 渡辺 喜一	今野 耕作 栗原 毅 松村 雄	粕谷 渥 白幡 喜昭 飯島 辰夫	齋藤 哲生 西ヶ谷浩正 堀 誠人

美術部の創世紀

昭和四十九年卒 迫坪 誠

団塊の世代が二十歳を迎え、日本中がそのエネルギーで蒸せ返っていた七〇年頃、埼玉大学も、ベトナム反戦・米帝打倒の立て看板が林立し、内ゲバが日常で、機動隊がロックアウトしたりと、沸騰していた。私は七〇年に経済学部



73年のむつめ祭で似顔絵描き

の学生になるとすぐに美術部に入部した。当時の美術部は教育学部美術専修の学生が部員の殆どを占め、活動の場も教育学部の美術棟の教室で、部員はプロのアーティストを目指して日夜作品製作や芸術論議に没頭しており、ここでも団塊パワーは膨れ上がっていた。後にこの中の多くが東京芸術大学の大学院に進み、昭和会賞作家の山田修一氏、独立美術協会の岡田忠明氏、国画会の松岡滋氏等が現代日本を代表する作家として活躍している。

そうした周囲の熱気に感染してしまった私は、北川ゼミへの出席を除くと殆ど絵を描いて過ごすようになり、真剣に絵描きになろうと考えるようになっていった。美術棟の教室を昼のアトリエとし、夜のアトリエとして蒼玄寮の二〇二号室を占拠し、作品製作に励んだ。北浦和駅近にあったスナック・レオに入り浸り、サントリーホワイトを煽りながら、美術部員で蒼玄寮も同室だった高梨氏らと青臭かったであろう芸術論や人生論を飽きもせず繰り返し、元住友銀行マンのマスターはそれを穏やかな微笑で見守ってくれた。

二年があつという間に過ぎ、熱気を孕んだ団塊の世代の猛者達が次々に卒業すると、周囲にはプロを目指す美術専修の学生は少なくなり、同好会的な雰囲気求める部員が増えていた。教育学部美術専修と離別し、同好会的な美術部の初代の部長を私が勤める事になり、活動の場もハモニカ長屋に移った。初めて油絵の具を手にする同好の



73年の埼玉会館での部展風景

友たちと写生旅行や埼玉会館での部展やコンパ等を共にするにつれ、私の中の絵画への特別な感情が薄れ、普通の経済学部の学生に戻っていった。長かった髪を切り、髭を剃って埼玉銀行に就職した。そして美術部で知り合った女性と結婚して、後輩たちにお見合い集団としての新美術部を宣言した。

三〇数年振りに昨年のむつめ祭を覗かせてもらった。美術部の展示は手作りの風情が往時の雰囲気

を伝えており懐かしかった。油絵が少ないのが時代を感じさせた。今、私は、大宮で Sakos Bar というバーを経営している。レオのマスターの笑顔を思い出しながら。先日、店内で埼玉大 JAZZ 研の現役・OB 達が生演奏してくれました。



09年 埼玉 JAZZ 研 現役・OB の共演ライブ

私の交流録



北本市役所 副市長
山島 則義
(旧姓 秋山)
昭和五十四年卒

ゼミは金融論の野田ゼミでした。ちょうど野田先生が九州大学からこちらにいらした一期生になります。在学当時はロック研究会に属しておりまして、当時の「むつめ祭」に、サザンオールスターズが教養棟のC1教室にライブに来たのが強烈な思い出です。

就職は埼玉県庁に採用され、これまで幸手保健所に始まり、広報課、埼玉県産業文化センター(派遣)、交通政策課(埼玉高速鉄道担当)、秘書課、東京事務所、さいたま新都心担当などに所属しました。県庁の様々な分野の中でもプロジェクトなどに携わり、貴重な経験をさせていただきました。今は出向(一度退職しますが)して現職に就かせていただいております。県庁に就職した同期生は小川君が福祉施設監査課に、五百扇(いおき)君が農村整備課に現在勤務しております。また、他学部出身者も多くおります。県民生活部長の後関さんは教養学部出身です。

一年上の先輩がテレビ埼玉東京支社長の平本さんで、広報課にいらっしゃったときにテレビ広報も担当いたしましたのでそれ以来様々な場面で、お世話になっております。当時のサークル仲間では、大堀君が都内の機械関係会社に勤めております。

在校生にひとこと言わせていただきますと、地方公務員(特に都道府県)は仕事のデパートです。福祉や産業振興、公共事業などあらゆる分野に係わり物事を変えることができます。経済学部出身も十分活躍できますから、現状を打破しようという、みなさんの突破力をお待ちしています。

創立60周年記念事業

埼玉大学は今年、創立60周年を迎えます。平成21年3月から1年間にわたり、次のようなさまざまな記念事業が開催されますので、皆様方ふるってご参加ください。

現在実施中・企画中の創立60周年記念事業の内容

連続市民講座「埼玉学のすすめ—埼玉の過去・現在・未来を知る—」

	開講日	テーマ	講師
第1回	3月28日(土)	埼玉の教育と未来—教育に希望を託す社会を—	教育学部教授 稲葉 喜徳
第2回	4月25日(土)	古代の埼玉と東アジア—古墳時代の対外交流—	教養学部准教授 高久 健二
第3回	5月23日(土)	彩の国はどこへ?—道州制下の地方自治—	経済学部准教授 齋藤 友之
第4回	6月27日(土)	埼玉の環境を考える—未来にどのような環境を残すか—	大学院理工学研究科教授 小松登志子
第5回	7月25日(土)	埼玉のものづくりと人づくり —熟練技能の伝承と創造型人材の育成—	大学院理工学研究科教授 堀尾健一郎
第6回	8月29日(土)	子育て支援の現在—埼玉から未来の子どもたちへ—	教育学部准教授 吉川はる奈
第7回	9月26日(土)	埼玉の新しいまちづくりを考える—「結い」をキーワードに—	経済学部教授 岩見良太郎
第8回	10月24日(土)	ゲノム研究の現在—埼玉から世界へ—	大学院理工学研究科准教授 日原由香子
第9回	11月28日(土)	戸田ボートコースの水質浄化作戦—淡水産真珠貝を利用して—	大学院理工学研究科教授 永澤 明
第10回	12月19日(土)	埼玉の広報戦略—21世紀都市のブランド力と戦略広報—	教養学部教授 平林 紀子

創立60周年記念演奏会：クラシック音楽コンサート 平成21年7月8日(水) 浦和駅東口パルコ10Fにて開催

創立60周年記念講演会：「音楽の贈りもの」 平成21年12月12日(土) さいたま芸術劇場にて開催

この他にもイベントを含め、まだまだ事業を企画中ですので、詳しくはホームページをご参照ください。

第4回	最優秀論文 有坂 昌平「独占禁止法課徴金制度のあり方について」
	優秀論文 門沢 亮介「これからの合併 —栃木県南の将来—」 斎藤 邦明「昭和恐慌期から戦時期における農村の「班」と自作農創設運動 —新潟県西蒲原郡旧坂井輪村を事例として」 湯浅 恵理「デジタル音楽の普及による音楽産業の変化と今後の展望について」

ありがとうございます 経和会終身会費納入の皆様 平成20年6月～21年4月まで（敬称略）

〈新入会員〉平成19年入学 田尻知明 平成20年入学 荒井春樹、今井史歩、岩佐浩一朗、岩本亨、薄井昭英、加藤弘峻、川端千翔、田中純、新岡みほり、吉田幸子、若林恵太 平成21年入学 會田瑞季、青木大樹、秋口涼祐、阿久根慶彦、浅沼将平、浅川尚之、阿倍貴子、安部友朗、天野大志、井辺拓朗、石黒雄斗、市川智也、伊藤大将、伊藤亜里紗、伊藤将太、伊藤優来、稲村如美、井上純一、宇留野映美、江田智則、枝尾竜成、江袋希、遠藤鉄也、遠藤有莉子、遠藤隼人、大原昇、大森舞、大友百合絵、大月由紀、太田聖人、小口毅史、小倉有紀、改瀬博和、柿田玲児、加藤叶珠、加藤瑞基、加藤雅之、加藤魁、金子稔、金子恵、兼澤希未、加納千稔、河合健太郎、河合寛、川又健正、菊澤祐太、北原将年、木村明恵、日下部悠菜、日下部駿、久世亮介、工藤駿、小関典明、小林悠紀、小室春彦、近藤奈史、今野大輔、斎藤、酒井陽介、坂上直矢、佐々木匡史、佐藤裕史、佐藤慈、佐藤修平、佐藤大輔、澤村巨輝、椎根陽一、篠原安代、島田津久美、清水克高、清水和吉、白銀紗希、菅野孝幸、鈴木隼人、瀬尾真奈実、添谷真里、田村季樹、田島智広、田口孔一、高橋裕大、高橋良彰、高橋優貴、高村康彰、竹ヶ原圭吾、富澤一馬、戸村政之、中島隆寿、中井淳大、中田裕弥、長竹孝紘、中塩裕基、中野将道、長岐花菜、中島久美、中里聖之、永瀬裕史、新宮雅之、丹羽明彦、根本智、野々山潤、袴田翔平、畑春花、半沢考、樋口あづみ、肥田野拓弥、平久江隆志、広瀬慎也、深沢知樹、冨本祐紀、藤井美沙、藤田将伍、古田昂啓、星野洋平、細谷敏平、堀之内俊介、前々森潤汰、松田陽介、松尾祥平、三浦賢人、宮内菜摘、宮崎暉、宮澤俊貴、宮原麻希、武藤優輝、村岡亜美、元田康博、八木紀和、大和未來、山下尚記、山岡彩乃、山田有輔、山藤秀隆、山本圭輔、山本竜、祐川夏基、横塚枝緒里、横森見太、吉田武史、吉田明多、吉藤隼士、續橋拓也、渡瀬芳彦

〈卒業生〉昭和34年卒 石田秀隆、西浦直澄 昭和35年卒 石川岩雄、泉威 昭和36年卒 井ノ川徹 昭和38年卒 井上雄二郎 昭和42年卒 江口次男 昭和43年卒 森重猛 昭和44年卒 今村樹憲、高田光雄、竹政新吾、吉田茂 昭和45年卒 石割雄三、石本研一、大野昌幸、柴田陽子、田中賢二、中伏和男、中西久治、宮脇清、山口章 昭和46年卒 新佳幸、岡部正道、澤田正行、毛呂義明 昭和47年卒 木村正一、杉村哲男、山根健次郎 昭和48年卒 山口慶一 昭和50年卒 中尾正雄 昭和51年卒 飯島辰之、渡辺豊 昭和52年卒 金子法雄 昭和53年卒 相原信明、上藤秀暢、志波英男、藤原晃、室久保真一 昭和54年卒 斎藤真樹、藤沢市郎、松本英文、宮野聡、山島則義 昭和55年卒 西丸聖一 昭和56年卒 中堂雅彦 昭和58年卒 大野英樹、西野文 昭和59年卒 工藤道弘、土橋勝、吉田弘子 昭和60年卒 鳥崎厚 昭和61年卒 戸塚孝男 昭和62年卒 櫻井恵 昭和63年卒 高野裕之 平成5年卒 平雅史 平成6年卒 岡田丈尋 平成7年卒 柿木しのぶ 平成8年卒 永野貴子 平成10年卒 池田幹雄、石原あすか、南部雄三、古野智輝、村松佐都子 平成18年卒 大嶋身江子、小嶋甲子雄、中嶋峻 平成19年卒 半田法子 平成20年卒 江本雄人 平成21年卒 望月英史 年度不明 伊藤悦子

編集後記	▶ 広報委員のお仕事に携わらせていただく中で、たくさんの先輩達とお話できたことは貴重な経験になりました。（船越裕美）	▶ 広報の仕事を通して学生、教授、OBの方などをいろいろと人と交流をすることができてとても勉強になりました。（伊藤 拓）	▶ 初めてインタビューさせていただき、いい経験になりました。（矢崎綾瀬）	▶ 反省する点も多々ありましたが、いい経験ができた事に感謝しています。（長澤重幸）
------	--	--	--------------------------------------	---